

# 大信寺からのお知らせ

平成22年3月9日

大信寺住職 岡田真幸  
護持会会長 千金楽勝夫  
護持会 役員一同

春3月とはいえ、寒い日々が続きます。暑さ寒さも彼岸まで。もう少しの辛抱です。

先日、法事の前に、故人の曾孫で二歳の可愛い女の子がよちよち歩きながら本堂に入ってきて、本尊さまに向かって小さな手を合わせ、ちょこっとお辞儀をしました。微笑ましい光景でした。きっと毎日、両親やお婆ちゃんと一緒に家のお仏壇に向かっているのでしょう。

仏教では、人は皆、生まれながらに仏性(ぶっしょう)を持っていると説きます。それが成長するにつれて、欲、怒や痴などの煩惱という殻で包んでしまいます。

仏さまの前で、それを自覚し、悔い改め(懺悔)、感謝の心をおこし、殻を一度むいてみたら如何でしょうか。

合掌  
住職 鳳譽真幸



お地蔵さんも暖かそう

近所の方が帽子とマフラーを編んでくれました

## お彼岸とは

国民の祝日に関する法律によりますと、春分の日、「自然をたたえ、生物をいつくしむ」とあります。

こちらの岸(此岸)は、煩惱や迷いに満ちたこの世で、向こう岸(彼岸)は煩惱を脱した悟りの境地を意味します。

では、なぜ、春分の日、秋分の日が彼岸となったのでしょうか。

中国浄土経の善導大師(ぜんどうだいし)の著書「観無量寿経疏(かんむりょうじゅきょうしよ)」に『その日は、太陽が真東に出て真西に沈み、阿弥陀仏の国は日没のころ真西の十万億刹の彼方にある』と書いてあることが根拠です。今から1400年も前から延々と続いています。

春の彼岸は、春分の日を中日とし、前後各3日を合わせた7日間のことです。初日を「彼岸の入り」、最終日を「彼岸明け」または「はしりくち」と呼びます。

今年は、3月18日(木) 彼岸の入り  
21日(日) 中日  
24日(水) 彼岸明け

となります。ご先祖さまへの感謝の気持ちを込めてご供養いたしましょう。

また、お彼岸といえば、ぼたもち、おはぎが欠かせません。春の彼岸では、ぼたもち(牡丹餅)、秋の彼岸には、おはぎ(御萩)と季節ごとに呼び名が変わり風情があります。



## 護持会役員会 会議報告

期日 平成22年2月12日(日)午前9時~

議題 平成21年度決算報告について

平成22年度護持会会費収入について

議事

平成21年度護持会決算報告及び平成22年度護持会会費収入が提出され、監査により関係書類を照合の結果、適正を認められたことの報告がありました。別紙をご参照下さい。

## 篠塚伊賀守奉賛会開催のご案内

関東各地より篠塚伊賀守重廣公の子孫が集い、伊賀守供養を下記のとおり開催いたしますので、壇信徒の方々も是非、ご列席下されれば幸いです。

開催日 4月4日(日)

11時 篠塚伊賀守公 奉賛供養法要 勤修

12時 懇親会 篠塚陣屋にて

法要はご自由にご出席ください。

懇親会にご出席の場合は会費2,000円にて

3月28日までに大信寺までお申込み下さい。

## 寅年薬師ご開帳 10月17日

山門をくぐると左手に朱色の薬師堂があり、薬師如来をお祀りしてあります。寅年薬師として12年毎の寅年ご開帳されます。

寅年に薬師さまを巡り願をかけると、無病息災のご利益があるという言い伝えが残されています。

「寅年薬師」と呼ばれることの起こりは、長和3(1014)年に京都の広隆寺で薬師如来を安置したのが、寅年の寅の日だったことが始まりとされ、阿弥陀如来が「西方極楽浄土」という死後の世界の救済を意味するのに対し、薬師如来は「東方瑠璃光浄土(るりこうじょうど)」をつかさどり死後の世界の救済と併せて、現世においては病の苦しみを取り除くことを目的としています。

今年は寅年で10月17日(日)にご開帳大祭を開催します。

現在、薬師堂を朱色に再塗装や傷んだ柱の修理を準備しています。

当日は、お稚児さん行列があり、子どもたちの無事成長を祈願します。3~7歳のお子さんを募集いたします。

(詳しくは、お盆のご案内で)



境内西側の薬師堂

12年前のご開帳  
お稚児さんへの灌頂



かわいい  
稚児さん

## 京都 比叡山参拝 11月 2泊3日の旅

5年ぶりに京都旅行を開催します。今回は、天台宗本山の比叡山延暦寺など京都の名刹を参拝します。

月日 11月12(金)~14日(日) 2泊3日

費用 55,000円(宿泊費 交通費 拝観料を含む)

日程

- 12日 バスにて出発  
京都到着後、法然院など参拝(予定)  
庭園が美しい白河院 宿泊  
舞妓さんの舞を見ながら夕食
- 13日 京都御所見学 大本山金戒光明寺参拝  
延暦寺 東塔参拝  
延暦寺会館 宿泊
- 14日 お朝事参列、東塔 西塔 横川 参拝  
琵琶湖を眺めながら昼食後  
バスにて帰途へ 21時 帰宅

平安時代、伝教大師が開いた延暦寺は、道元禅師、荣西禅師、法然上人など数々の鎌倉時代の仏教宗派の祖が修行したところです。法然上人の修業時代を垣間見ましょう。

大信寺から補助もありますので、この機会に是非ご参加下さい。(詳しくは、お盆のご案内で)



←延暦寺 横川中堂

延暦寺 根本中堂にて、  
朝7時にお朝事参列 →



←旅館白河院では  
京都市指定名勝の庭園が  
お楽しみいただけます

白河院では舞妓さんの舞を  
ご覧になりながら夕食を  
楽しめます →



←京の雅 京都御所